平成２２年　２月＆３月号　　（２０１０－２＆３）

山麓探偵団通信

２,３月号

今回の通信は、一月と二月の探偵団活動報告です。

◎一月の探偵団は、山中湖畔の水鳥を、伊藤カメラマンのハイビジョン・カメラを通して観る企画を催行し、好評を得ました。

さっそく感想文をご紹介します。

◇山中湖に、また宝物を発見

今年最初の探偵団です。土曜日の山中湖畔を双眼鏡片手にキョロキョロするグループを不思議そうに見ている観光客が大勢います。そんな中、私は真近に見る水鳥たちの羽根の色や模様に、夢中になってしまいました。

どんな芸術家も思いつかないであろう配色とデザイン、繊細なグラデーション。山中湖に、また宝物を発見という心境です。ちょうどその時、頭上をバサバサという音が！　見上げると、まさにコブ白鳥が飛び立つところです。

なんという迫力でしょう。その大きさと美しさに、アッと声をあげていました。

伊藤団長からプロミナー（バードウオッチング用の望遠鏡）をお借りして、遠くの水鳥たちの観察では珍しいカワアイサの群れや、パンダガモ(実名はミコアイサ)の姿をはっきりとらえることができ、肉眼では見えない鳥の動きやパンダガモの、まさにパンダ顔を見ることができたのです。この第二の目のプロミナーには愕きです。面白くなって、皆で月のクレーターを見たり、飛行機の会社名を見たりと、楽しみました。団長によると、下界からハイビジョン・カメラで、富士山の登山者の姿もとらえることができるそうです。今回の探偵団でのサプライズは、昼の炊事班の私がミソを忘れ、急きょコンビニでしょうゆを買ったため、ミソ汁のはずが、おすましになったことでしょう。　（Ｋ・Ｍ）

～～～